

えくてびあん

7

立川と語ろう 立川に生きよう
JULY 2002
EKUTEBIAN Vol.20 No.216



表紙の人／岩崎 泉（柴崎町） 撮影／細江英公

案内人・豊泉喜一
写真・五来孝平

蚕と猫？の守り神「金色姫」

およそ八十万種といわれる昆虫の中で「お蚕様」や「おかいこ」等の敬称で呼ばれる虫は蚕の他にはないであろう。農家にとって蚕は、敬称をつけて呼ぶほど大切なものであり、砂川でも幕末から昭和の中頃にかけて養蚕が村の経済を支えてきた。その大切な蚕の守り神として、安政七年（一八六〇）、常陸国豊浦湊（現茨城県つくば市）から「蚕影神社」を勧請し、村の鎮守である阿豆佐味天神社境内に社を造営、お祀りして養蚕の豊作と飼育の安全を願い、各地域では「蚕影講」が結成され信仰を集めた。

この御神体は、「金色姫」と云い、高さ三十センチ程の木製で百四十年を経た今でも鮮やかな色彩を保っている。安政七年、豊浦湊のご本社が出した「分社之証」には「蚕影神社」ではなく「蚕影山桑林寺」と記されており、御神体の「金色姫」は本来、仏教系の神様のようと思われる。そのためか、明治初年の廃仏毀釈の折、拜殿に架けられていた「鰐口」と共に宮司宅の土蔵に収蔵され、以後、長く人の目に触れることはなかった。昭和三十年頃より養蚕業は急速に衰退したことから、かつては養蚕農家の信仰を集めた「蚕影神社」はその役割を終え、今では他の境内社と合祀されて、神社の存在を知る人は少なくなってきた。

ところが最近、この神社が思いがけないことで脚光を浴びるようになった。本来、養蚕の守り神であったこの神社は、蚕の大敵・鼠を退散させるとして、猫がお札に使われていたことが動物雑誌などに紹介されたことから、最近のペットブームもあって猫の病気平癒や行方不明の猫が帰ってくるようになるなど、他府県からもご祈祷の依頼や参拝に訪れるようになり、思わぬ御利益をもたらしている。



沢山の絵馬の中には猫の安全祈願もある



今も鮮やかな色彩を保つご神体「金色姫」像



文久元年辛酉7月23日、武州谷保住・関・知利作「鰐口」



最盛期の蚕。この時期、毛織から1万倍にもなる（写真提供・豊泉喜一氏）



『パリダカ』挑戦、なお止まらず。

過酷なラリーに挑む聴覚障害者 田村聡さん

啓介 最初に田村さんの話を聞いた時は驚きました。世の中にバイク好きはたくさんいるけれども、あの過酷なパリダカに挑戦しようなんて人は、そうそういない。ましてや、田村さんは障害をもっておられるでしょう。健常者でも至難の業なのに、いやあ、凄い人がいるもんだなあって。

田村 そんなことはないですよ。バイクが好きなら、憧れる人は多いんじゃないでしょうか。啓介 憧れだけならともかく、本当に行っちゃうってのが凄い。出場した時にはバイクの故障が原因で完走できなかったって聞きました。

田村 ええ。直す道具が手持ちにはなくて。フランス人のメカニックの人に修理をお願いしたんですが、どうも整備しきれなかったみたいで。結果、泣く泣く断念しました。



■田村 聡(たむらさとし)／フランスからアフリカのセネガルまで、全行程9,500km。広大なサハラ砂漠を縦断する世界で最も過酷な冒険ラリー、『パリダカ』に、昨年12月、聴覚障害をもつ日本人として初めて参戦したのが田村さん。高校2年の時にオートバイの免許を取得。全国各地をツーリングするだけに止まらず、モトクロスやトライアルのレースに積極的に参戦。平成11年には、モンゴル平原4,000kmを8日間かけて横断するラリーに挑戦し見事完走。全国のモーターファンに知られるところとなる。現在37歳。鈴鹿在住。
■立井啓介(たていけいすけ)／本誌編集人。



啓介 でも、レース中はそんなこと考えていられないでしょ。田村 そうなんです(笑)。サハラの砂は、まるでココアパウダーのように細かいんです。だから途中で気を許して、ちょっとでもスピードを落とすとタイヤが砂にとられてしまう。それに、なんといつても暑さとの戦いですね。途中、飲み水を切らして困ったこともありましたが。周

田村 僕が通っていた立川ろう学校では大丈夫でしたが、学校には内緒にしてました。その後、ちょっとした事故を起こしてしまっ、結果的にバレてしまいました。啓介 怒られたでしょう(笑)。田村 先生は「しょうがないな」って。啓介 僕は免許を持ってないんですが、

ずいぶん前に小さなスクーターのようなバイクを運転したことがあるんです。あれは身体中に風を感じて、気持ちよかったです。たぶん、自動車では味わえない感覚ですよ。田村 そうですね、僕も初めて乗った時は嬉しかったです。スピードを上げて、身体全体でバランスをとるのがとても面白かった。大きなバイクは最初は怖かったですけど、慣れてくると愉しくなりましたね。僕は自動車の免許も持ってるんですが、バイクはまた格別ですね。啓介 ちょっと失礼なことを訊きますけれども、田村さん、音を感じることでできないでしょうか。運動するのに不都合はありますか。

田村 やっぱり周囲の音、たとえばクラクションとか、救急車のサイレンとか、そういうものが聴こえないのは困ります。啓介 それに、特にバイクだと自分の乗ってるマシンの音にも敏感にならないといけないでしょう。田村 ええ、そうですね。でもその代わりに見る力、目で見て判断する力をフル

田村 ゴールまで、あと二千キロぐらいのところですね。啓介 そうだったんですか。じゃ、故障のトラブルがなければ……。田村 ええ、完走しました。応急処置ぐらい自分で出来れば、なんとかかなったと思ってるんですが。啓介 パリダカって毎年開催されてるんですか。田村 年に一度ですね。啓介 そうすると田村さん、また今年もチャレンジされるんですか。田村 いえ、二年後を狙ってます。まず参戦するための資金集めが必要で、それに体力づくり、バイクの調整など、クリアしなければいけない問題がたくさんあるんです。だから、二年後を目標にしています。

田村 僕も、早くできるといいですね。田村 そうなんです。心待ちにしてるんですが。啓介 またひとつ、失礼な質問になってしまってますが、障害を持っていることで、寂しい思いをされたことってありますか。田村 そうですね……。やはりコミュニケーションの問題ですね。人と心を割って話すということが、なかなかできにくいんですよ。啓介 うん、でも、健常者といわれる僕らでも、心を割って話ができる人間なんて、そういないですよ。きっとこれを読んで、田村さんのようなバイタリティーを欲しがってる人が、たくさんいると思います。田村 なんか、照れくさいですね(笑)。啓介 これまでに、障害者でパリダカに出場した人って何人かいたと聞いていますが、日本では僕が初めてですね。啓介 そうすると、準備の段階からいろ

※手話通訳：小林久枝さん(錦町)

スタンドグラス ばさーじゅ 522-1941
 スバゲティー専門店 はしや 528-2338
 立川リージェントホテル 522-1133
 ビックカメラ 立川店 548-1111
 Wine & Dining るもん 527-3022
 ケンタッキーフライドチキン 立川店 528-2636
 東京三菱銀行 立川支店 5244121
 カフェ アバン 527-4479
 トボス 立川店 525-0331
 三井石油 フロンティア立川 527-3943
 手打ちそば しえもと 529-5468
 漢流魚料理 一竿 527-3640
 園部肉店 522-2901
 串やきと牛たんのお店 JEAN 529-6210
 三田花店 立川高島屋店 526-4187
 立川高島屋 サービスフロア 525-2111
 オリオン書房 ノルテ店 522-1231
 和菓子屋 花奴万葉庵 工場売店 0120-398785
 多摩画材 (祭品交換所) 522-6031
 丸助青果店 522-3542

えくてびあんの輪
 人があて、街があります。
 あなたがあて、立川があります。
 そこにちょっとだけ、えくてびあん！
 リストのお店にはいつでも、えくてびあん！

高松町
 スーパー やなぎや 522-4322
 肉の専門店 伊勢屋 524-2734
 ケーキ&カフェ マリアン 524-3912
 米穀・食料品 横町屋 522-2609
 山梨中央銀行 立川支店 526-1571
 レストラン 榎 526-2276
 Cafe-Resutaurant & Bar TIP-TOP 525-2030
 OBANZAI-YA 茄子菜 521-2918
 書籍・雑誌 フレンド書房 527-1555
 HAIR MAKES たしろ 525-2175
 活魚割烹 きよみず 526-3885
 HAIR MAKES たしろ 525-2175
 ふとんの 青木寝商 536-6833
 Beauty Salon リラ 536-3048
 みふじサイクル 536-7166
 Fresh CIRCLE 紀ノ国屋 536-1604
 浅見内科医院 537-0918
 いなげや 立川若葉町店 537-4119
 鮎 舍利とねた 537-4120
 いなげや 立川一番町店 531-4925

【別刷】立川から見える山

男体山 (2484m)

案内人 守屋龍男



【砂川の市営住宅12階より/写真・守屋龍男】

立川から、あの名山・男体山が見える！

本統です。

ちなみに大山団地から見えた微かな雄姿が、案内人の守屋龍男氏から編集部へ届けられた。

本年1月号まで12回にわたって連載した『立川から見える山』の別格として、守屋氏にご案内いただいた。

砂川地区から空気の澄んだ厳冬期に北方を見ると、狭山丘陵のはるか遠くに半円状の山が見える。作家で登山家の深田久弥氏選定の日本百名山のひとつ、日光の男体山である。大山団地の高層住宅上階ならよく見え、モノレールの高松駅以北の車窓から見ることもできる。

山名は男神の大己貴命（大国主命の別名）にちなむという。開山は奈良時代末期、下野国の勝道上人が二度の失敗の後登頂を果たし祠を造ったと伝えられる。現在も二荒山神社の御神体山として崇拝され、7月31日の夜から1週間は登拝祭で大変な賑わいになる。

4月下旬、ちょっと強行軍ではあったが日帰り登山を行った。（開山期間は5月5日～10月25日）

中善寺湖畔の二荒山神社登山口からいきなりの急登でブナやミズナラの巨木が点在する原生林の中に行く。新芽が出始めた樹林は春の息吹に満ち溢れている。三合目で一度林道に出て四合目からは再び樹林帯に続く岩の道をよじ登る。時折見下ろす中禅寺湖や戦場ヶ原が次第に小さくなり高度を実感する。八合目付近からは雪が残る。深いところは膝がすっぽり入るほどだ。残雪帯をぬけると間もなく山頂である。

目前に屹立する日光連山、武尊山、皇海山、真白に雪を抱いた会津駒ヶ岳や月山も意外に近く、はるか遠くに秩父山地や丹沢山塊、富士山と360度の雄大な光景が広がる。雲が切れて眩しい光がいくつかの峰を照らす。神々しい瞬間である。近くに二荒山神社の奥社が鎮座している。ここはやはり神の座する崇高な場であろうか。



中禅寺湖や戦場ヶ原の上に屹立する山容は雄大で修験の山にふさわしく美しい。



【行程】

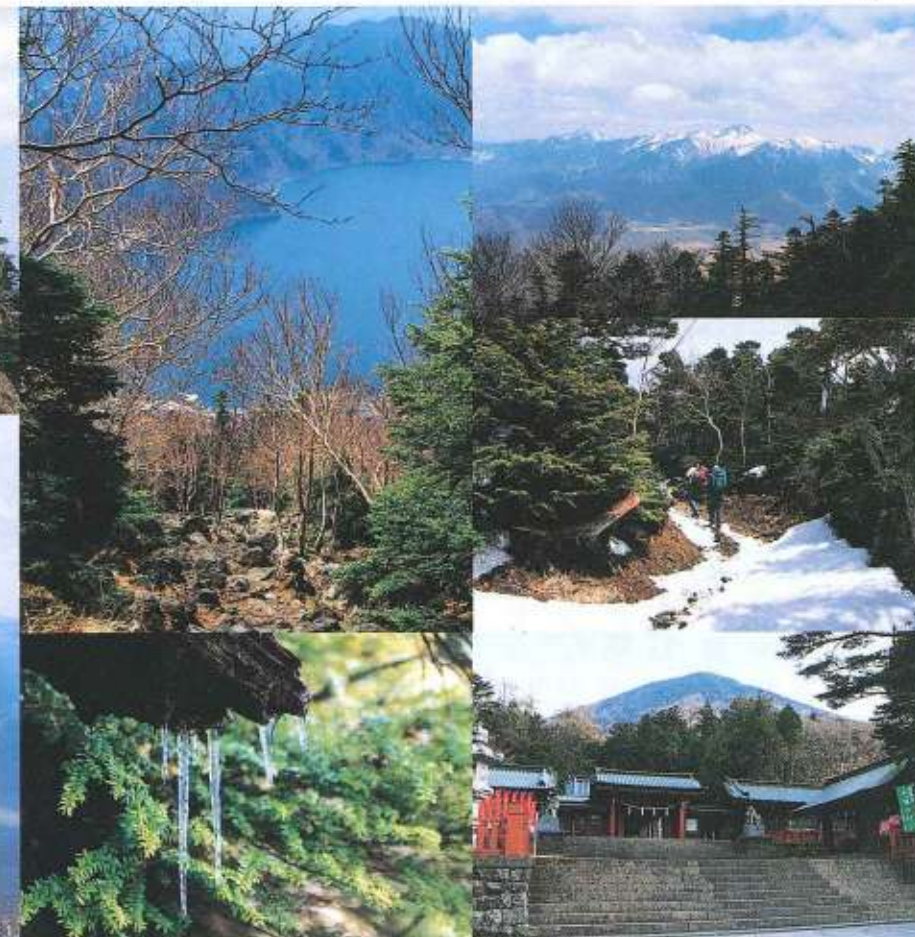
〈二荒山神社まで〉

- ① JR立川駅＝東京駅乗り換え上野駅＝4時間＝日光駅（もしくは浅草から東武線經由東武日光駅）＝東武バス50分＝二荒山神社
- ② マイカー 立川＝関越道所沢IC＝東関道＝東北道＝日光宇都宮道清滝IC＝国道120号＝二荒山神社
（もしくは立川＝圏央道日の出IC＝関越道沼田IC＝金精峠＝二荒山神社）
どちらも約4時間

〈男体山登山〉

- ① 二荒山神社→1時間20分→4合目→2時間10分→山頂→往路を戻す2時間30分→二荒山神社
（歩程 6時間）
- ② 二荒山神社→1時間20分→4合目→2時間10分→山頂→北に下る→1時間40分→志津乗越→裏男体林道2時間→三本松バス停
（歩程 7時間10分）

写真・中村 伸



二荒山神社登山口からはほぼ直登続き。高度とともに雪や氷の世界へと変わる。

立川経済界の重鎮。平成5年から「立川商工会議所」会頭をつとめ、4期8年に亘って活躍、今日にいたっている。岩崎商事(株)代表取締役。昭和33年、中央大学商学部卒業。同年4月、多摩中央信用金庫入庫。昭和38年12月、武蔵米穀卸(株)取締役。昭和58年4月、武蔵米穀卸(株)代表取締役を経て、平成9年6月、岩崎商事(株)代表取締役となる。昭和10年8月生まれ、66歳。まだまだ活躍していただきたい一人。

(於: 商工会議所会頭室/ 撮影: 細江英公)

東風

錦町の田村 聡さんの「バリ〜ダカール」での活躍は私たち立川人に感動をあたえてくれた。それは単にこの世界でも一番過酷なレースに挑んだというだけでなく、田村さんが、聴覚障害者であるということによる。先月号の「えくてびあんの眼」でその全貌を掲載させていただいたところ、おおきな反響を呼んだので、今月号での対談の運びとなった次第だが、ご当人は淡々としたもので、障害についての劣等感も、さりとて「障害者なのに私はここまでやった」という叫びもなく、普通のトーンでレースへの愛着を語るのだった◆聴覚に不自由していない人でも、耳に栓をしてオートバイに乗ったら怖い。ちょっとマシンの調子がわるいなどということは「耳」で判断することが大半ではなかろうか。2年後に再び挑戦するという、その心意気にも青年の爽快感があふれていた◆立川から日光の男体山が見えるというのは、うすうす聞いていたが、編集部で「見た」という確証をもっている者はいなかったし、その道の人に訊いても定かではない。「立川から見える山」連載の守屋龍男さんから写真を見せられたとき、これなら確か、と掲載にふみきった。案内人は無論、守屋さん◆糸とんは うまれし歡喜 えくてびあん

【第三次えくてびあん同人】
編集 大久保清志/小林康史/杉山清純/
芳賀敏博/山田五郎
デザイン 池田隆男/AMINET DF
写真 五来孝平/中村 伸/宮保大輔

えくてびあん 7月号
第20巻 通巻216号
平成14年7月1日発行

発行 えくてびあん編集工房
〒190-0012
東京都立川市曙町2-17-5 杉田ビル3F
TEL. 042-528-0082 FAX. 042-528-0065

編集人 立井啓介
発行人 瀬尾勲三
印刷 (株)大廣社

無断転載を禁じます。

Topics トピックス

ふれあい事業、開花結実! 農家に「嫁」がやってきた



立川の農家一軒当たりの耕地面積は多摩地域で一番だとか。しかし、今や農業人口の6割余りを50代以上が占めるようになり、その若返りが期待されている。そこで2000年11月より市役所・農産課と、若手農業従事者が結成する立川市農研会が「ふれあい事業交流会」をスタートさせ、立川の農業振興を図るために農家の独身男性に出会いの場を提供してきた。同交流会は年に2回開催、公募してきた女性陣を迎えて畑での収穫体験やバーベキューなどを通じて農業へのより良い理解と親好を温めていた。そしてついにこの度、念願の第一号のカップルが誕生。5月吉日、岡野幹裕さん(西砂町)と鈴木治美さん(横浜市)の結婚式が華やかに執り行われた。今年8月には、第5回交流会が岡野さんの果樹園で開催される予定。朗報に続きとばかり、いつにも増して熱が入りそうだ。詳しいお問い合わせは、市役所・農産課【523-2111(代)】まで。

曾野綾子文化講演会 「個人・家族そして社会」が盛況

さる5月30日、アミューたちかわ大ホールにおいて、作家・曾野綾子さんによる文化講演会「個人・家族そして社会」(主催:精神文化映像社/後援:立川市、カトリック女子パウロ会、真如苑、えくてびあん・多摩てばこネット)が催された。曾野さんは、ベストセラー作家として文壇で活躍する一方、これまで政府諸閣僚、各種審議会委員など様々な形で国の文教政策に携わり、また現在も日本財団会長など、多くの要職を担っている。多岐に亘る活躍をみせる希代の女流の講演とあって、当日会場には1,000人をこえる聴衆が詰めかけた。



講演は、曾野さん独特の柔らかなユーモアを交えつつ、昨年の米同時多発テロの問題や、戦後の民主主義が孕む矛盾等、様々な話題を引用。個人、家族の新しい在り方について、示唆に富んだ曾野流「人間論」を展開し、およそ80分にわたって満員の聴衆を惹きつけた。



うなちゃん

●柏町4-61-13 ●536-6240
●営業時間 17:30~21:00 (オーダーストップ20:30)
●日曜、祭日定休 ●Pなし
●カウンター8席、テーブル4席、奥座敷10席

手間を惜しまないからこそ 守れる老舗の味



一通り(写真) 1,500円
ひれ焼 150円
きも焼 180円
一口蒲焼 200円
うなぎ 1,600円



ちょっと一串「うなぎ」でも摘もうか。ひれ焼、きも焼、一口蒲焼と、うなぎを身近な感覚で味わうことができるお店が柏町にある。この「うなちゃん」スタイルは、店主である廣田辰弘さんの父が戦後はじめたうなぎの屋台が元となっている。訊けば、兄も国立にて同名のうなぎ専門店を開業しているという。しかも、うなぎ屋業は明治時代に祖父が根津ではじめたもので、実に親子三代に渡って頑なに老舗の味を守り続けている。美味しいうなぎはやはり鮮度が物を云う。この鮮度を保つため、割いたうなぎはその日のうちに使い切るよう心がけている。毎朝5時に北千住にある問屋から仕入れてきたうなぎを廣田さんは一匹ずつ丁寧にさばき、串を打つ。「この家業は、手間を惜しんだら出来ませんよ」と廣田さんは語る。こうした地道かつ実直な歩みが常連客を放さないのだろう。勿論、炭は備長炭を使用。タレはお酒に合うように甘さを控える工夫がなされる。うなちゃんの人気メニューは、ひれ焼。うなぎの体長の80%を占める背鰭と尾鰭を串に巻いたもので、一串に3、4匹分が使われているのだとか。ゼラチン質の旨みとコリコリ感がたまらない一品だ。

真味百撰 62

ごさんの独断毒語

程々

先月号で「棄てる」というテーマでこの欄を書きましたところ、読者の方々から大変多くの感想をいただきました。いま、この項を執筆しているとき、ちょうど毀誉褒貶が出そろったというところ。 「自尊心」を棄てようという提案に、賛意を示された方は、哲学的な、そして深刻な話を寓話風に書いてもらおうと何だか自分にも棄てられるような気分になってきたというもの。 小海線から「自尊心」が帰ってきてしまったそうだが、せひとも後日、帰還不可能な方法を見いだして発表していただきたい。 「中間派」の方のご意見は、邪魔だと思ふものを、自分のこゝろの中で飼いなす、これも人生の愉しみではないか。「虚栄心」も「劣等感」もほどほどに持っていた方が人間的に厚みが出るのではないかと。ただ、自分も自尊心や虚栄心に掻き回されて、ほどほどになる時がある。どこかに、調節の弁はないものだろうか。自尊心も虚栄心も、それから劣等感も無いなら無いでスッカリするであろうが、そういうものと密かに闘ってゆくのが「人生」だと思う。 四十過ぎたら自分の顔に責任を持って、という意

味は、おのずと滲み出てくる「小さな苦惱」の歴史を指しているのではないだろうか。 毀誉褒貶、なかでも「毀」と「貶」が重なって出てくると書き手の気が落ちるとお考えかも知れませんが、適切な指摘をいただくのは快いもので、あ、きちんと読んでくださったの

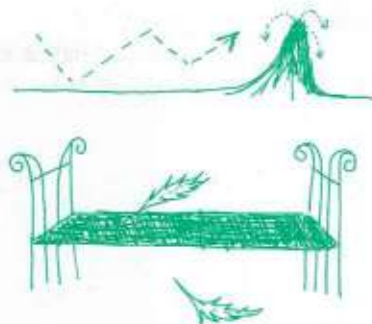


イラスト: 藤 幸子

だなあと感じる気持ちが沸くものです。なかには「正座」して熱読してくれたのではないかと考えるほど、熱弁を振るわれる方がいる。ここに貴重なご意見をいただきました。別に荷物にもならないから「自尊心」はもっていてもいい。自分で自分が偉いと思う。こと

の意もあるが、自分の人格を尊重する「意義」もある。要するに、自分を愛して何故悪い。「尊」という字は、両手でもって酒樽を捧げ持つ姿からきている。 どうです、この反論、この正論。見事です。自分を愛して何故悪い。こどもであります。これを聞いて私の頭を、何故か「程々」あるいは「分相応」という言葉が横切りました。 ところで話はかわるようですが、久々にB夫人とお会いしました。夫人は四十代で茶飲み話がお父さんのことに及びました。お父さんは夫人が二十歳の時に亡くなられたと。この話は初耳だったので私はネホリハホリ訊いておりました。夫人のお父さんは普通に結婚し、普通に子をなし、普通に離婚し、普通に会社を勤めあげ、普通に亡くなった、特に人さまに「こういう父でした」と話すほどのことはないのだというのです。「普通」という言葉があまりにも普通に使われていたので、その時は見逃してしまいましたが、「程々」「分相応」と同じようなキーワードになるのではないかと考えておりました。このことはB夫人には無論、黙っておりました。(やまだ)らう・詩人

立川と多摩地域が もっと楽しいホームページ

多摩てばこネット

http://www.tamatobako-net.ne.jp/

多摩てばこネット編集工房
〒190-0012 立川市曙町3-4-3 武蔵ビル2F
tel 042-548-9808 fax 042-548-9809
e-mail message@tamatobako-net.ne.jp

常楽我浄

真如苑提供番組 毎週土曜21時~21時30分

スカイパーフェクトTV 216ch、マイテレビ 84ch

土 曜 午前9時~9時15分
午後7時15分~7時30分
再放送/火曜 午前9時~9時15分
午後7時45分~8時
放送時間は予告なく変更する場合がございます。

立川に育ちて六十六年
真如苑
柴崎町1-2-13 Tel. 527-0111(代)

SUPPORT YOUR DREAM
あなたの夢に真価的
あさひ銀行

デジタルえほん

メモリーブックにどうぞ...

デジタルえほん
メモリーブックにどうぞ...
ミッキーやキティちゃんと一緒に...!!
あなたの写真と名前が
絵本の中に入ります。
PLANNING・DESIGN・PROCESS・PRINTING
大度社 042-527-1911
〒190-0022 東京都立川市曙町5-17-13
FAX. 527-1949
E-mail: dkosya@nifty.com

いつも、旅

型染版画家・田中清の世界①



そらまめ
「蚕豆」



多摩の新景より
「多摩湖」
(東大和市)

早いうちから私は蚕豆の造型に興味をもっておりました。蚕豆は冬を越して、春から初夏にかけて人々の食卓にのぼるのですが、寒い季節を越えてきた愛惜の気持ちも働いています。保存食の為でしょう、ムシロに干しているのをよく見掛けました。眺めてみると蚕豆は真に不思議な形をしていて、人間同様どれひとつ同じ豆はありません。創作意欲をかきたてられる対象です。